

特集

上半期の財政状況

計画通り収入50%に対し、支出が38%

平成6年度の上半期の財政
事情は、収入及び執行状況と
もに順調です。



町制施行40周年記念のメモリアルイベントとして行われた
「エキサイティング・HIKARI」 8月6日・7日

収入の時期

補助金は、完成後

一般会計の収入（歳入）は、計画に対して約50%がすでに収入されており、予定通り順調に入ってきていると言えます。なかでも高い割合で収入されているのは地方交付税や町税、繰越金であることが12ページのグラフでわかります。これは、一般財源と言われ、使い道が特定されていないことに特徴があります。反対に、国庫支出金や県支出金、町債等は、ほとんど収入されていますね。これらは特定財源と言われ、使い道が特定されていてそれ以外のものにお金を使うことができません。

では、なぜ特定財源の収入の時期が遅いのでしょうか？

町では、国や県からの補助金を利用して数多くの事業を行っています。

支払いは

完成払いが原則

一般会計の支出（歳出）は、予算額に対して約38%が支出されています。収入率と比較すると支出の割合が低い割合というのは、町が発注する工事等は、完成払いが原則だからです。従って、執行率自体は少なくても、公共事業の契約済率は68%となっており順調に進んでいると言えます。

写真で紹介した事業が、



中学校に導入したコンピューターは最新技術を
ほこり、勉強にも熱が入ります



高齢者の生きがいと健康づくり事業の一環として実施された
花いっぱい運動に参加する老人クラブのみなさん